

## 1. 演習問題

以下の文のうち、動詞のまちがいを探し、その動詞に線を引いて正しく直しなさい。

### (A)

今年もあと1週間で終えようとしていますね。例年のように、2017年もあつという間に過ごしていったという印象があります。今年はトルコの情勢も多少落ち着き、日本にいる私の実家も多少は安心していただのではないかと思わせます。来年も、平穩な1年になることを心より祈っています。

思えば、盛りだくさんの一年でした。1月には、国際シンポジウムを私の勤める大学で開催させる機会がありました。私は事業責任者という役目を果たしました。いろいろ大変なこともありましたし、たくさんの人たちにご迷惑もおかけなさいましたが、みなさんのおかげで楽しいシンポジウムにしたのではないかと思います。シンポジウムでは、ゲストとしてこられた方々の国で日本語教育をなるとき、母語の干渉と思う現象、また各言語と日本語の対照についての先生方のご報告が大変面白いでした。

### (B)

私の愛猫である「ぴの」は、そろそろわが家に来て3週間がある。ぴのが私の家に行ったときはとても小さかったが、最近改めて見せてみると、あつという間に大きくなったことがよくわかる。どうやら、子猫の時期というのはあつという間に過ぎ去ってくるらしい。

あまり問題は起こさない猫で、とても助けられている。トイレもちゃんと私が用意した砂にさせてくれるし、留守番も問題なくできる。そんな様子なので安心していえる言えば安心していえる。ただし、いろんなものにすぐ噛みつかれる癖が強いのと、元気すぎるという問題があり、私はいつも頭をもたげている。それに、とにかく私にかまってほしくてしょうがないようで、私が自宅で仕事をしたり、趣味の将棋をしているととにかく邪魔を続てくる。だがこのあたりはもうしょうがないのかもしれない。今後も手間がかけると思うが、

根気強く世話を持っていきたいと思う。

## 2. 以下の文章を適切な文体・文章に書き直しなさい。

今日、同僚に「どうやってたばこをやめたのか」と聞かれたので、お金がなければやめられますよと返答した。つまり、それくらい追い込まれないとたばこをやむのは難しいという実感がある。もっとも実際には、今も「ナルギレ」という水たばこを吸いに行ったり、たまに紙巻きたばこも1本あげたりなどもしないわけでもない。しかし、事実上普段はほぼ吸わなくなっているのである。紙巻きたばこも、以前と比べると今はそれほどおいしいと思えないということもある。

タバコをやめるには、意志の強さとかそういうことは問題ではないと思う。意志が強い人でも、喫煙が習慣化するとそう簡単にはやめられないのではないのでしょうか。私がタバコを辞めようと思ったのは、博士課程が終わり、奨学金（という名の教育ローン）の支給がいよいよ切れますというときで、仕事も簡単にみつかるわけでもなく、食費すらいよいよ切り詰めないと大阪ではやっていけない…となったとき、これは本気で止めないと生活が破綻する、という強烈な危機感がきっかけです。きっかけはやはり重要です…。

ただ、今日その同僚に伝えそびれたことがある。これは、具体的にはどうやめていったかという話。座禅を組んだりとか、何か苦行を行ったとかそういうものではありません。私自身もいろいろ試したが、禁煙パイポ、ニコチンガムともにそれ以前に何度か試されたが、だめだった。効果があったのは、コンビニなどで普通に売っているガムで、それも眠気覚ましの、舌触りがとても強いタイプのガム。あれが実際は自分にはもっとも効果的だった。それでももちろん禁煙をはじめてからは辛い日が続いたが、私の場合ピークは2週間、あとは徐々に楽になっていったことを覚えられる。

## 2. 筆記課題

以下の課題に解答しなさい。

あなたが入社を希望している日系企業から、以下のテーマでエントリーシートが提示されたと仮定し、出題に解答しなさい。

**あなた自身を構成している要素をキーワードとして5つ挙げ、それらについて説明してください。**

---

※「事実の記述」に基づいて文章を展開すること。

※ 事実の記述の中に、根拠のない意見が入り込まないように注意して書くこと。

※配布プリント p37-39「第3者に説明するための文章を書くときの原則」を守ること。

※「私は…思う」という表現を使用しないこと。

※字数は自由。ただし、A4用紙1枚以内に収めること。

※ 箇条書きのようにしないこと。まとまった文章にして提出すること。

配布資料の出典：

林治郎・岡田三津子（編著）(2008)『改訂版 言語表現技術ハンドブック』. 大阪：晃洋書房.